



京都・
市民放射能
測定所

原発事故から6年 広がる放射能汚染！

測定データから見えるもの

5/14 (日) 開設5周年のつと

《呉竹文化センター 2階会議室での催し》

※参加費 会員500円 一般700円

①午前の部 10時～12時

特別上映『「たゆたいながら 完成版」

会員総会の開催

②午後の部 13時15分～17時

講演企画1

測定データから浮かび上がる東日本の汚染

『東日本土壌測定プロジェクトの成果』

石丸偉丈（いしまるひでたけ）さんのお話

『5年間の測定結果から見えるもの』

京都・市民放射能測定所からの報告

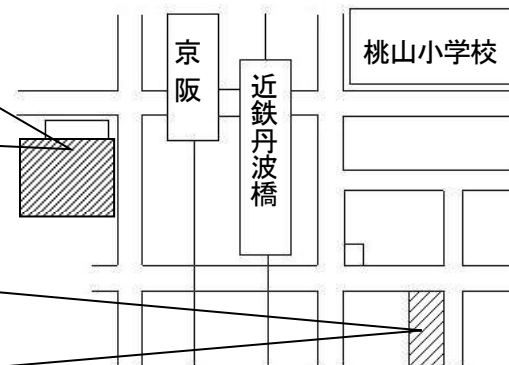
講演企画2

『福島原発事故の健康被害をめぐる3つの立場—政府・ICRP・最新の放射線科学から帰還政策・除染残土再利用を考える』

渡辺悦司さん

メイン会場：呉竹文化センター

（近鉄・京阪 丹波橋駅下車すぐ）



《丹波橋測定室での催し》

10時～14時

①無料測定会

先着順 一人1品、
4人様まで受付

②茶話会

ゆっくり交流しましょう！
※お菓子代 お気持ちカンパ

※ご注意ください

駐車場はありませんので、お近くのコインパーキング等をご利用下さい。
電車で来られることをお勧めします。

講師の方を裏面でご紹介しています。



《ミニライブ》

17時～18時 近くの喫茶店で
河野康弘さんのピアノ演奏を聞きながら交流
※参加費1000円（1ドリンク付）

《懇親会》

※18時以降は懇親会となります。
料理、飲物を別途ご注文下さい。

京都・市民放射能測定所

〒612-0066 京都市伏見区桃山羽柴長吉中町 55-1 コーポ桃山 105号

TEL/FAX 075-622-9870 E-mail: shimin_sokutei@yahoo.co.jp

http://nukecheck.namaste.jp/ http://crmskyoto.exblog.jp/

つと担当 070-5664-2713 (佐藤) satokazu@wave.plala.or.jp

測定所開設5周年のつどい ごあいさつ

みなさま、情勢はますます緊迫しています。

放射能汚染が消えたわけでもないのに、原発事故による健康被害がますます明らかになっているのに、避難区域は次々解除され、事故避難者への支援は縮小されています。

大阪高裁の判決によって、高浜原発の再稼働も迫ってきています。

8000ベクレル/kg以下の汚染土がリサイクルされ、ばら撒かれようとしています。

原子力規制委員会は、食品の放射能汚染の基準を緩和することを狙っています。

こんな情勢だからこそ、5周年を迎えた京都・市民放射能測定所の踏ん張りどころだと、スタッフ一同考えています。

今回のつどいでは、現在の汚染の証拠をさらに明らかにしていくことが必要と考え、東日本土壌測定プロジェクトの報告を石丸さんをお願いしました。

そして、避難解除と汚染土壌リサイクルの犯罪性を明らかにする講演を渡辺さんをお願いしました。

ぜひ一人でも多くの方にご参加いただけますよう、お願いいたします。

【講師他ご紹介】

『東日本土壌測定プロジェクトの成果』

講師 **石丸偉丈**（いしまるひでたけ）さん

東京の国分寺「こどもみらい測定所」代表
全国の測定所をつなぐ「みんなのデータサイト」を運営。

本土壌測定プロジェクトの事務局長として、
3000箇所以上の土壌を測定した結果をまとめ、
未来まで汚染が続くことを示すマップを公表。

『福島原発事故の健康被害をめぐる3つの立場—政府・ICRP・最新の放射線科学から帰還政策・除染残土再利用を考える』

講師 **渡辺悦司**（わたなべえつじ）

さん

政治経済学・経済史学会会員

市民と科学者の内部被曝問題研究会会員
山田・遠藤氏との共著である「放射線被曝の争点—福島原発事故の健康被害はないのか」（緑風出版 2016年）を出版。

ドキュメンタリー映画「たゆたいながら」

監督 **阿部周一**（あべしゅういち）さん

福島市の放射能汚染と向き合う市民取材した本作品を大学在学中に制作。

優秀作品として「学長賞」を受賞。

第七回座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル コンペティション部門入賞。

ピアノ演奏

河野康弘（こうのやすひろ）さん

ジャズピアニスト／地球ハーモニー代表

矢沢永吉バンドでプロデビュー。

音楽を通じての平和・環境活動、中古ピアノ復活プロジェクトに活躍中。

※無料測定会で測定ご希望の方へ

食品を基本にしますが、土壌他のご相談ください。物によっては測定できないものがあります。量は1リットル必要です。固形物はみじん切りにして持参してください。